

ある財の需要関数と供給関数がそれぞれ次のように示されるとする。価格規制と数量規制の効果に関する次の記述中のア～エに入るものがいずれも妥当なのはどれか。

$$D = 500 - \frac{P}{2} \quad [D: \text{需要量}, P: \text{価格}, S: \text{供給量}]$$

$$S = \frac{P}{2}$$

- ・ 政府が、この財の価格の下限を700とする価格規制を行ったとすると、この財の市場では が だけ発生する。
- ・ 政府が、この財の生産量の上限を200に制限する数量規制を行ったとすると、この財の価格は となり、生産者の財1単位当たりのレント（超過利潤）は となる。

	ア	イ	ウ	エ
1. 超過需要		100	600	200
2. 超過需要		200	400	100
3. 超過供給		100	400	50
4. 超過供給		200	500	100
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 超過供給		200	600	200

次の文中のア, イに入るものがいずれも妥当なのはどれか。

ある地域の雨, 曇り, 晴れの確率はそれぞれ0.1, 0.4, 0.5である。表は, この地域にあるコンビニの1日の天候と売上高との関係を示している。売上高の算術平均(期待値)は , 分散は である。

天候	雨	曇り	晴れ
確率	0.1	0.4	0.5
売上高	20	40	50

- ア イ
1. 40 61
 2. 40 81
 3. 43 61
 4. 43 81
 5. 46 91